

上場会社名 株式会社 gumi 上場取引所 東  
 コード番号 3903 URL http:// gu3. co. jp/  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 國光 宏尚  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 川本 寛之 (TEL) 03 (5358) 5322  
 四半期報告書提出予定日 平成 27 年 12 月 10 日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成 28 年 4 月期第 2 四半期の連結業績（平成 27 年 5 月 1 日～平成 27 年 10 月 31 日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 4 月期第 2 四半期	10,927	△21.9	△1,500	—	△1,561	—	△1,765	—
27 年 4 月期第 2 四半期	13,996	—	1,162	—	1,066	—	458	—

（注） 包括利益 28 年 4 月期第 2 四半期 △1,675 百万円（—％） 27 年 4 月期第 2 四半期 483 百万円（—％）

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28 年 4 月期第 2 四半期	△60.05	—
27 年 4 月期第 2 四半期	19.55	—

- （注） 1. 当社は、平成 26 年 8 月 1 日付で普通株式 1 株につき 500 株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1 株当たり四半期純利益」を算定しております。
2. 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、平成 27 年 4 月期第 2 四半期は、新株予約権の残高がありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、平成 28 年 4 月期第 2 四半期は、潜在株式が存在するものの 1 株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28 年 4 月期第 2 四半期	19,920	14,283	71.7
27 年 4 月期	23,658	16,801	70.6

（参考）自己資本 28 年 4 月期第 2 四半期 14,273 百万円 27 年 4 月期 16,704 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27 年 4 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28 年 4 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28 年 4 月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成 28 年 4 月期の連結業績予想（平成 27 年 5 月 1 日～平成 28 年 4 月 30 日）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 3 四半期(累計)	15,527	△24.7	△2,500	—	△2,661	—	—	—	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

- （注） 1. 平成 28 年 4 月期の連結業績予想については、現時点で通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第 3 四半期の業績予想のみを開示しております。
2. 「親会社株主に帰属する当期純利益」及び「1 株当たり当期純利益」については、税効果の見積りが困難であるため記載しておりません。

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年4月期2Q	29,586,500株	27年4月期	29,014,500株
② 期末自己株式数	28年4月期2Q	—株	27年4月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年4月期2Q	29,406,467株	27年4月期2Q	23,449,586株

(注) 当社は、平成26年8月1日を効力発生日として、普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

## ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は10,927,500千円、営業損失は1,500,578千円、経常損失は1,561,566千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,765,779千円となりました。

当第2四半期連結累計期間に関する主な要因は次のとおりです。

## ①売上高

売上高は10,927,500千円となり、前年同四半期に比べ、3,069,192千円の減少となりました。これは主に、当社子会社の株式会社エイリムがリリースしましたスマートフォン向けネイティブアプリ「ブレイブ フロンティア」の売上高減少によるものです。

## ②営業損失

営業損失は1,500,578千円（前年同期は、1,162,241千円の利益）となりました。ゲーム配信のプラットフォームへの支払手数料が売上高に比例して減少しておりますが、当社では開発ゲームタイトル数の拡充のために国内外での開発投資をしていることから売上原価が8,793,549千円（前年同期は、8,485,599千円）となりました。販売費及び一般管理費は広告宣伝費の削減等により3,634,529千円（前年同期は、4,348,852千円）となりました。

## ③経常損失

経常損失は1,561,566千円（前年同期は、1,066,360千円の利益）となりました。これは主に営業外費用として、為替差損46,571千円及び持分法による投資損失21,609千円を計上したことによるものです。

## ④親会社株主に帰属する四半期純損失

親会社株主に帰属する四半期純損失は、1,765,779千円（前年同期は、458,524千円の利益）となりました。これは主に、特別利益として、事業譲渡益335,910千円、特別損失として、減損損失385,372千円、並びに法人税、住民税及び事業税90,868千円、法人税等調整額68,671千円を計上したことによるものです。

なお、当社はモバイルオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は19,920,203千円となり、前連結会計年度末比3,738,153千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金及び売掛金の減少によるものであります。

負債合計は5,636,423千円となり、前連結会計年度末比1,220,292千円減少いたしました。これは主に、買掛金、未払法人税等及び長期借入金の減少によるものであります。

純資産は14,283,779千円となり、前連結会計年度末比2,517,861千円減少いたしました。なお、自己資本比率は71.7%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末17,850,400千円に比べ3,758,104千円減少し、14,092,295千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は1,373,598千円(前年同期は1,237,764千円の収入)となりました。収入の主な内訳は、売上債権の増減額750,622千円、減損損失385,372千円であり、支出の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失1,611,430千円、法人税等の支払額391,937千円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は1,007,322千円(前年同期は545,010千円の支出)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出764,167千円があったこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は1,343,074千円(前年同期は10,001,399千円の収入)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月期第3四半期の連結業績予想の前提条件は以下の通りです。なお、連結業績予想につきましては、モバイルオンラインゲーム業界を取り巻く環境の変化が激しく、当社グループの業績も短期的に大きく変動する可能性があること等から、信頼性の高い通期の連結業績予想を算出することが困難なため、第3四半期の連結業績予想のみを開示しております。また、同様の理由により将来の課税所得が短期的に大きく変動する可能性があること等から、繰延税金資産の回収可能性を見積もることが困難なため、「親会社株主に帰属する当期純利益」及び「1株当たり当期純利益」については開示しておりません。

## ① 売上高

売上高はタイトル毎に積み上げ、予想値を算出しており、既存タイトルと新規タイトルでは算出方法が異なります。

既存タイトルは、過去の売上実績等を考慮し予想値を算出しており、リリース後、一定期間を経過した後に収益が逡減することを見込んで算出してしております。

新規タイトルは期待値に応じて売上高を4つに区分し予想値を算出してしております。また、他社IPを使用したタイトルの場合はIPの知名度等を考慮しており、パブリッシングの場合は既にリリースされている開発元での売上実績等を考慮し予想値を算出してしております。

なお、平成28年4月期第3四半期におきましては、上述に加え、以下の前提条件を考慮しております。

## ・既存タイトル

A) 「ブレイブ フロンティア (日本語版)」に関しては、年末年始にイベントを開催し課金率等の上昇が想定されることから、ARPMUが第2四半期(※)に比べて約15%上昇することを想定しております。MAUについてはリリース後の期間経過に伴い減少することを考慮し、第2四半期に比べて約30%の減少を想定しております。そのため、第2四半期に比べて約20%の売上高減少を見込んでおります。

B) 「ブレイブ フロンティア (海外言語版)」に関しては、ARPMUを第2四半期と同水準に想定しております。MAUについてはリリース後の期間経過に伴い減少することを考慮し、第2四半期に比べて約20%の減少を想定しております。そのため、第2四半期に比べて約20%の売上高減少を見込んでおります。

C) 「ファントム オブ キル」に関しては、著名IPとのコラボや積極的なゲーム内施策の追加等により課金率が上昇すると想定されることから、ARPMUが第2四半期に比べて約10%上昇することを想定しております。MAUについては大規模なプロモーションを実施しないことを考慮し、第2四半期に比べて約30%の減少を想定しております。そのため、第2四半期に比べて約25%の売上高減少を見込んでおります。

## ・新規タイトル

10月22日にリリースされた「ファイナルファンタジー ブレイブエクスヴィアス」に関しては、足元のKPIを考慮し保守的な売上高を見込んでおります。その他のタイトルに関しては、僅少を見込んでおります。

(※1) 第2四半期：平成27年8月～10月

## ② 営業利益

営業利益は、売上原価(以下、「原価」)並びに販売費及び一般管理費(以下、「販管費」)を考慮し予想値を算出してしております。原価はタイトル毎に運営費と開発費を積み上げ、予想値を算出しており、売上高同様、既存タイトルと新規タイトルでは算出方法が異なります。

既存タイトルは、過去の運営実績と今後の運営スケジュール等を考慮し予想値を算出してしております。

新規タイトルのうち開発承認済みのタイトルは開発計画を考慮し、開発承認前のタイトルは過去の類似タイトルの実績等を考慮し予想値を算出してしております。

なお、プラットフォームへの支払手数料及びサーバー費等の通信費は、売上高に一定割合で連動するように算出してしております。

販管費は、費目別に費用を積み上げ、予想値を算出してしております。主な費目として、人件費は既存従業員に係る給与手当及び法定福利費等に加え、今後の採用計画に基づく新規採用者に係る人件費を考慮し予想値を算出してしております。広告宣伝費は、新規タイトルのリリース予定やタイトル毎のプロモーション計画に合わせて予想値を算出してしております。減価償却費は固定資産の取得等の設備投資計画を考慮し、また開発費は原則発生時に費用化していることから一部のタイトルを除き、ソフトウェア資産には計上しておりません。

なお、平成28年4月期第3四半期におきましては、上述に加え、以下の前提条件を考慮しております。

A) 運営費及び開発費に含まれる人件費に関しては、国内外の人員採用が一巡したことから、第2四半期と同水準を見込んでおります。

B) 運営費及び開発費に含まれる外注費に関しては、引き続き開発を継続することから、第2四半期と同水準を見込んでおります。

C) 広告宣伝費に関しては、タイトルの売上状況に応じた適切なプロモーションを実施予定であることから、第2四半期と比べて減少を見込んでおります。（新規タイトルの動向等により金額が増加する可能性があります。）

③ 経常利益

経常利益につきましては、営業利益に当期に発生が見込まれる営業外収益、営業外費用を考慮して算出した金額を予想値としております。なお、平成28年4月期第3四半期におきましては、営業外費用として借入金に係る支払利息を見込んでおります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が934,862千円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年 4 月30日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,850,400	14,098,272
売掛金	2,394,401	1,629,698
その他	302,076	270,984
流動資産合計	20,546,878	15,998,955
固定資産		
有形固定資産	339,784	311,375
無形固定資産		
のれん	233,249	198,795
その他	637,128	530,957
無形固定資産合計	870,378	729,753
投資その他の資産		
投資有価証券	1,177,534	2,337,336
その他	723,780	542,782
投資その他の資産合計	1,901,314	2,880,119
固定資産合計	3,111,477	3,921,247
資産合計	23,658,356	19,920,203



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年 4 月 30 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	766,360	464,863
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,000,000
未払法人税等	372,513	101,637
賞与引当金	—	111,181
その他	1,372,731	1,116,276
流動負債合計	5,011,605	4,293,958
固定負債		
長期借入金	1,750,000	1,250,000
資産除去債務	89,916	87,626
その他	5,194	4,838
固定負債合計	1,845,110	1,342,465
負債合計	6,856,716	5,636,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,840,544	8,927,144
資本剰余金	8,830,544	7,982,282
利益剰余金	△1,107,678	△2,873,457
株主資本合計	16,563,410	14,035,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,303	136,869
為替換算調整勘定	137,009	100,207
その他の包括利益累計額合計	141,312	237,076
非支配株主持分	96,917	10,733
純資産合計	16,801,640	14,283,779
負債純資産合計	23,658,356	19,920,203

( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 ( 四半期連結損益計算書 )  
 ( 第 2 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成26年 5 月 1 日 至 平成26年10月31日 )	当第 2 四半期連結累計期間 ( 自 平成27年 5 月 1 日 至 平成27年10月31日 )
売上高	13,996,692	10,927,500
売上原価	8,485,599	8,793,549
売上総利益	5,511,093	2,133,951
販売費及び一般管理費	4,348,852	3,634,529
営業利益又は営業損失 ( △ )	1,162,241	△1,500,578
営業外収益		
受取利息及び配当金	601	1,937
経営指導料	4,800	4,800
消費税等免除益	3,496	-
補助金収入	15,187	-
その他	3,541	17,490
営業外収益合計	27,626	24,227
営業外費用		
支払利息	11,713	16,364
為替差損	57,425	46,571
株式交付費	29,156	511
持分法による投資損失	25,211	21,609
その他	-	158
営業外費用合計	123,507	85,215
経常利益又は経常損失 ( △ )	1,066,360	△1,561,566
特別利益		
事業譲渡益	-	335,910
特別利益合計	-	335,910
特別損失		
減損損失	-	385,372
その他	-	402
特別損失合計	-	385,774
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ( △ )	1,066,360	△1,611,430
法人税、住民税及び事業税	605,958	90,868
法人税等調整額	△2,344	68,671
法人税等合計	603,614	159,539
四半期純利益又は四半期純損失 ( △ )	462,745	△1,770,970
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主 に帰属する四半期純損失 ( △ )	4,221	△5,190
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失 ( △ )	458,524	△1,765,779

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	462,745	△1,770,970
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	270	132,566
為替換算調整勘定	20,776	△36,894
その他の包括利益合計	21,046	95,672
四半期包括利益	483,792	△1,675,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	481,419	△1,670,014
非支配株主に係る四半期包括利益	2,372	△5,283

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年5月1日 至 平成26年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,066,360	△1,611,430
減価償却費	47,179	132,488
減損損失	-	385,372
のれん償却額	34,454	34,454
賞与引当金の増減額(△は減少)	-	111,181
受取利息及び受取配当金	△601	△1,937
支払利息	11,713	16,364
為替差損益(△は益)	△10,813	19,769
補助金収入	△15,187	-
持分法による投資損益(△は益)	25,211	21,609
事業譲渡損益(△は益)	-	△335,910
売上債権の増減額(△は増加)	126,049	750,622
仕入債務の増減額(△は減少)	119,672	△311,925
株式交付費	29,156	511
未払金の増減額(△は減少)	23,232	△122,865
未払消費税等の増減額(△は減少)	68,240	△209,771
その他	△229,613	152,557
小計	1,295,055	△968,907
利息及び配当金の受取額	601	1,937
利息の支払額	△11,367	△14,690
補助金の受取額	15,187	-
法人税等の支払額	△61,712	△391,937
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,237,764	△1,373,598
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	△6,137
定期預金の払戻による収入	7,523	-
有形固定資産の取得による支出	△115,984	△49,208
無形固定資産の取得による支出	△183,849	△336,517
投資有価証券の取得による支出	△130,376	△764,167
出資金の払込による支出	△75,730	△200,000
事業譲渡による収入	-	335,910
敷金及び保証金の差入による支出	△75,625	△1,186
敷金及び保証金の返還による収入	29,033	13,985
投資活動によるキャッシュ・フロー	△545,010	△1,007,322

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 5 月 1 日 至 平成26年10月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 5 月 1 日 至 平成27年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,700,000	-
長期借入金の返済による支出	-	△500,000
株式の発行による収入	8,301,399	172,688
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△1,015,762
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,001,399	△1,343,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	30,759	△34,109
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,724,913	△3,758,104
現金及び現金同等物の期首残高	2,470,392	17,850,400
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	37,589	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,232,895	14,092,295

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」等を適用しております。これに伴う影響は、「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示会計方針の変更（企業結合に関する会計基準等の適用）」に記載のとおりであります。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年5月1日至平成26年10月31日）

当社グループは、モバイルオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年5月1日至平成27年10月31日）

当社グループは、モバイルオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。